

延べ98人が受講しました



三島さん（中央）と白鳥小学校の仲間たち

◇悪質訪問販売等被害防止対策講和会が開かれました！

2月20日～2月26日（5日間）溪樹園デイサービスセンター、3月11日ケアハウスアイビーハイツにおいて、悪質訪問販売等被害防止対策講和会が開催され、延べ98人の方が受講されました。

役場商工観光課職員により、布団の訪問販売、健康食品の電話勧誘販売、詐欺まがいの借金トラブルについて説明しました。

どの受講者も、真剣な表情で受講し、中には近所で発見した悪質業者の情報を提供してくれた方もいました。

被害にあわないための一番の方法は、玄関にカギをかけることです！そして不安なことがあれば、遠慮なく役場商工観光課にご相談ください。

◇山火事注意の標語で知事賞受賞

平成19年度林野火災予防に関する標語の小学校の部で、白鳥小学校4年生の三島梓（あずさ）さんが、知事賞を受賞しました。2月20日、白鳥小学校で網走支庁の巻口公治産業振興部長から、知事賞選定作品の優秀の伝達式が行われました。

今回、優秀賞を受賞された三島さんの作品「山火事はいろんな命 さらってく」は、全道で1,097件の応募のうち3件選ばれた中の1つです。

◇Hot Mint Jam vol.2

2月24日に、童話村たきのうえライブカレッジ自主企画事業『Hot Mint Jam Vol.2』第2回たきのうえバンド祭り（TAK INOUE Hot Mint Jam実行委員会主催）が盛大に開催されました。町内8つのバンドをはじめ、紋別市・北見市・雄武町・西興部村からのバンドやゲストバンド「蛇の穴」の出演により、



今年も前回よりも多い13組のバンドの熱いライブが行われました。

〇さんの美声も素晴らしいです。HIROさんには、Hot Mint Jamの司会もやっていただき、全体的にとっても流れの良いライブになりました。



会場は大盛り上がり！！

ゲストバンドは、HBCラジオ「カーナビRadio午後一番！」やテレビ「ビタミンテレビ」でご活躍中の関博紀（HIROさん）アナウンサーが結成した「蛇の穴」。ギター、ベース、ドラムの技術も高く、ボーカルのHIRO

今年で2回目のHot Mint Jam。「音響・照明・演出も素晴らしく、道内でもこれだけ手の込んだライブはなかなかない。各バンドの技術も高く、オホーツク圏のバンド熱に驚かされた。」とHIROさんも絶賛でした。ジャンルもポップスからロックなど幅広く、誰が見ても飽きない内容で、町内外の反響も高くなってきました。来年はどんなライブになるのでしょうか。

地域医療の確保は住民で

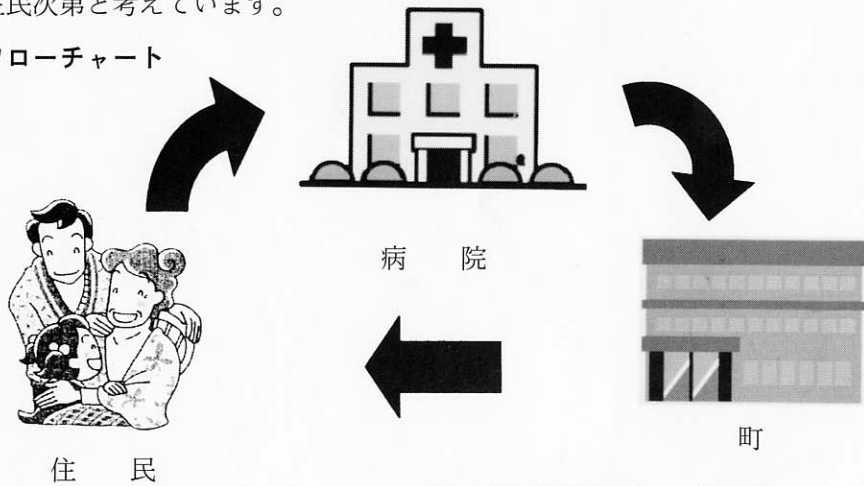
地域医療を守ることは滝上町にとっても重要な行政課題です。しかし、病院、町だけでは地域医療は守れません。これからの地域医療は住民、病院、町の三者が一体となって押し進める必要があります。最近では市町村の財政の健全性は病院会計も含んだ数値で表されますから、病院の借金は町の借金となります。赤平市をみてください。病院の借金が約48億円あると報道されています。この病院の借金によって赤平市は夕張と同じ赤字再建団体になる可能性があります。このような事態を防ぐためには病院も身分にふさわしくない過剰投資は控える必要があります。



一方、健全な病院運営を維持するには地域住民の協力は不可欠となっています。たとえば胃の内視鏡検査(胃カメラ)を行なうと考えてください。胃内視鏡の検査料は約1万円です。滝上町以外の病院で行なうと1万円が滝上町から出て行くこととなります。しかし、当院で行なえば検査料の1万円はそのまま病院の収入となり、滝上町全体で考えれば滝上町へ1万円の収入が入るのと同じこととなります。すなわち医療費として支払った1万円は町外へは流出せず、そのまま滝上に残るわけです。年間100人の方が町外で検査を受けず、当院で受けたとしましょう。100万円が町外に流出せずに滝上町の収入として残ります。投薬でも同じことが言えます。処方箋料は約500円です。当院で処方させていただくと、処方箋料はそのまま当院の収入、すなわち滝上町の収入となります。500円で毎月処方箋料を払うと年間6,000円です。200名が町外の病院を受診したとしましょう。処方箋料120万円が町外に流出しますが、当院で薬を出ささせていただければ滝上町に120万円が収入として入ることとなります。

ところで、田舎の病院は新しい薬はないのではと誤解している方もいらっしゃるのではないのでしょうか。病院で使う薬は問屋から購入しますが、これは大学病院のような大病院でも当院のような小さい病院でも同じ仕組みです。すなわち、わざわざ都会の病院にいかなくても新薬を服用することができるわけです。また、内視鏡も同じことが言えます。テレビのコマーシャルでもおなじみの鼻から挿入する内視鏡は当院ではすでに導入しており、都会の大病院と同じような検査を行なっています。町外の病院を受診して診察料、処方箋料、検査料が町外へ流出するか、当院を利用することで診察料、処方箋料、検査料が滝上町に残るか、今一度考えていただけないでしょうか。病院の収入はそのまま滝上町の収入です。町外の病院へ支払っているお金が滝上に留まると、そのお金で小学校や中学校の修繕や備品の購入など滝上の子どものためにも使用できます。私は病院、町を守るのも滝上の住民次第と考えています。

◇町内の循環フローチャート



滝上町国保病院長 桂 卷 正